

広島県中小企業団体中央会 2022年10月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比11.3%増加、前年同月比8.5%増加。売上高は前月比12%増加、前年同月比10.7%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料や諸経費が値上がりして収益を圧迫している。インバウンド需要が回復傾向にあり、その分野に力を入れていた業者は売り上げの回復に期待が持てるようになった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

10月度も販売量が予想を下回り、在庫が増加している。また、原材料等の価格高騰による収益性の悪化が深刻であり、年明けからさらなる景気悪化が予想される。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

令和4年9月の全国新設住宅着工戸数は73,920戸で前年同月比+1.0%となった。前年同月比2カ月連続の増加となったが、持家は10カ月連続で対前年同月比が減少。また、木造住宅は木材価格に落ち着き見え始めたが、昨秋以降、対前年同月比はプラス～横這いだったものが4月以降6カ月連続の減少に転じている。

一方、広島県では着工戸数1,248戸で、対前年同比▲21.0%、うち持家は367戸で▲25.7%、貸家は610戸で▲18.3%、分譲は271戸で▲19.8%であり、県全体の住宅着工戸数は前年同月比2カ月連続の減少となった。県内では持家が8カ月連続で減少、分譲と貸家が先月から減少に転じている。建築資材や住宅設備の品薄や高騰により住宅価格が上昇していることが一因ともみられる。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業界の景況感はやや悪いが、「印刷産業夢メッセ」等のイベントがリアルで開催されるなど、活気が戻りつつある。参加者の多くが対面で人と話すことで刺激を受けたと感じる。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

原材料等の価格高騰による収益性の悪化が深刻であり、業界の景況感は悪化している。また、台湾有事に備えて、中国からのサプライチェーン見直し等も検討する必要がある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

・原材料価格等の高騰が予想以上であり、値上げ分を製品単価へ転嫁することが難しく、採算を大きく圧迫している。

・自動車関連は、回復傾向が見られるが、不透明感が強い。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和4年10月 2,987 m³ (対前年比99.3%)

令和4年 9月 2,676 m³

令和3年10月 3,009 m³

・令和4年度想定数量

780,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

・コベルコ建機が主要取引先である会社の多くは、ここ数年フル操業が続いている（前年比更に増の生産計画が続いている）。

・各社の平均で10月度の売上高は対前月比+30%の生産実績。対前年比でも増加。コベルコ建機の下期操業計画は対上期比+18%で、前年比も+7%なので、高操業は続く見通し。

・不安材料は電子部品がショート気味なので足下生産に下振れリスクはある。

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

業界の景況感としては、年末に向けて若干の上昇傾向が見られる。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

スポット受注や出荷時期の変更が主な要因となり、10月度の売上は前月比10%増加、前年同月比は17%増加となった。また、日工会の10月25日発表の9月工作機械受注実績は前年同月比4.3%増の1508億4800万円と23ヶ月連続の増加となった。内外需とも高水準を継続している。今後も、自動化や工程短縮、環境規制対応の需要が見込め、一時的な調整はあっても大崩れはない見込みである。

リョービ関連工業協同組合

日野自動車のエンジン性能試験のデータ不正問題の影響を受け、収益状況の悪化など低迷している企業が多い。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

新規受注はやや鈍化しているものの、増加していた受注残により、3月までは高稼働が続く見込であり、売上は前月比10%増加、前年同月比12%増加となった。依然として部材の調達難や価格の高騰は継続している。また、電子部品においては、自動車向けの需要が回復してきており、スマートフォンなどの民生用機器の需要は減少傾向にある。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

コロナによるロックダウンや半導体の供給問題は改善されつつあり、マツダの生産は一部の不安材料は残っているが、正常な水準に戻りつつある。

10月度の自動車国内販売台数は359千台、前年同月比+28.6%と2ヶ月連続で増加。一方、マツダ車は+52.7%と5ヶ月連続で増加となったが、9月の海外販売台数は83.0千台と前年同月比▲8.1%と14ヶ月連続で前年比減となった。また、輸出台数は、前年比+1.9%と3ヶ月連続で増加。国内生産台数は、前年同月比+43.8%と3ヶ月連続で回復基調にある。

●輸送用機械器具 (造船)

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和4年9月の船舶建造許可実績は3隻、212,200総トンであった。(前月5隻111,340総トン。前年同月1隻、120,200総トン。)なお、内訳は輸出船が3隻で、貨物船であった。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・コロナ影響で抑制していた設備投資を行う企業が増加。原資は手元資金より捻出するケースが多い。
- ・売上回復・増販を見据えた営業人材の確保(特に中途採用、定着率)に問題を有し、高齢者の再雇用等で調整しているが、営業体制の刷新や年齢構成の適正化が課題となっている企業が散見される。

●卸売業 (電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

商品価格改定による価格高騰の中、まだ商品納期遅延現象は解決されず問題となっている状況。

●卸売業 (畳・敷物)

広島県藁製品商業協同組合

・びんご特選の取扱いは、前年対比101.9%となったが、JAS畳表は前年対比95.6%と先月から減少した。

- ・原材料等の価格高騰により、輸入品が国産とほぼ同じ価格で推移しており、取扱いが減少している。

●卸売業 (家具)

リビズ株式会社

コストアップにより、商品の値上げを実施している。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・10月度中央市場水産部の取扱高は前年実績を若干割り込み、養殖鮮魚・輸入冷凍物の値上げが今後も予定されており、「価格高騰による客離れ」を懸念する声が多く聞かれる。青果部は相場の上昇により前年実績を若干上回った。
- ・コロナ禍の好転の兆しを感じられない中、エネルギー関連から生活必需品に至るまで値上げラッシュが続き、消

費者の防衛意識の高まりから小売・外食向けの販売低迷が続いている。しかし、宿泊業向けの販売は全国旅行支援事業が始まり受注が回復しつつある。

協同組合三次ショッピングセンター

仮店舗での営業により売上は昨対比60%~90%台と厳しい状況が続いている。全世帯に市内共通商品券が1万円分配布された。利用者が多いため、商品券を利用できない非加盟店は不利になると思われる。また、市内では新型コロナウイルス感染者が再び増加しているが、もはや消費に影響は無くなっている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和4年10月度販売実績 111%（前年同月比）、AV商品107%、白物商品112%、薄型テレビ99%（内有機EL173%）、DVD83%、冷蔵庫114%、洗濯機114%、IHクッキングヒーター115%、エコキュート114%、エアコン136%、炊飯器141%、電子レンジ140%、掃除機145%

依然慢性的品不足は続いている。また、家電メーカーが商品陣容の見直しを開始したため、ラインナップが縮小傾向にある。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

コロナ感染が完全には収束していない中で、地域では民間団体が主催するイベントが開催され、いずれも多くの観客が訪れている。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲1.2%、前年同月比5.3%増加
- ・車検場収入は、前月比2.6%増加、前年同月比7.6%増加
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比5.7%増加、前年同月比0.7%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

稼働上昇時期で、若干ではあるが稼働した。年末に向けさらなる稼働上昇に期待したいが、見通しは乏しい。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難は少しずつ解消している。前月・前年比ではそれぞれ減少・悪化したが、計画比ではほぼ計画通りとなった。電子帳簿保存法などの法改正に向けて、多くの中小企業も対応を進められている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、10月度は前月、前年同月、前年累計各対比ともにほぼ横ばい状態であった。居住、非居住共着工数は低調で今年度も見通しは厳しい。

福山地区電気工事業協同組合

- ・10月分の受注件数は、416件（前年同月比83%）。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

（運輸業）

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・10月の売上高は前月比、前年同月比共に増加。
- ・自動車メーカーが製造停止や調整を行っているため、使用される鉄製品の出荷が減少している。
- ・軽油価格は、OPEC（石油輸出国機構）、OPECプラスが大幅減産で合意したため、値上げとなった。

松永地区トラック事業協同組合

- ・10月の売上高は、対前年同月比、対前月比ともに増加となったが、燃料価格の高騰により収益はどんどん悪化している。
- ・OPECプラスの大規模減産、ウクライナ情勢、円安と燃料価格が高騰する要素ばかりで、この状態が続くと、廃業に追い込まれる業者も出てくるのではないかと思われる。
- ・トラック輸送が国内物流の大半を占めている現状を踏まえて、燃料サーチャージ制の導入や実務がもっと簡単にすることが出来るようにしないと、国内物流が大きく変化する可能性が出て来るのではと思われる。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

10月の景況感は、やや悪い。燃料価格は依然として高止まりが続いている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない

- ・運賃や用船料の改善がみられない
(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は、9月分同様に仕事のずれ込み分で10月分の売上高等も増加し、収益も好転している。前年同月比は、特に変化なし。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。マンション販売については、新築販売がやや鈍化している。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。